

分析テーマ		バス事業者： 4) 潜在的な需要の把握
分析内容		バス未整備、バス廃止地区の潜在的な需要を把握し、バス導入の可能性を検討する。
分析事例	現状での	PTデータによる分析事例あり
	行政サイド 事業者サイド	ほとんどなし
分析方法		<ul style="list-style-type: none"> PTデータでは、現況のバス利用状況が把握できるため、バス利用の傾向（ゾーン別、個人属性別等）を分析することにより、バスが利用される条件を整理することが可能である。 また、不便地域を含めた地域別バスサービス水準を整理し、サービス水準と利用率との関係から、潜在需要を把握する。 なお、PTデータより細かい地域区分が必要とされる場合には、メッシュデータ（国勢調査等）を活用することも考えられる。 <p>分析フロー（例）</p> <pre> graph TD A[PTデータ] --> B[現況バス利用特性分析 ・ゾーン別バス利用率 ・バスが利用される条件(個人属性)] C[その他データ・資料] --> D[公共交通不便地域 バス停勢圏] C --> E[バスサービス水準 ・ゾーン別バス 運行本数、バス 停数 等] B --> F[需要推計モデルの作成 ・サービス水準と利用率の関係を表す 分担率曲線モデル等] D --> G[潜在需要の把握 ・サービス水準が向上した場合 の需要量] E --> G F --> G G --> H[潜在需要をすい上げるサービスのあり方検討 ・路線方向、地区 ・経営見込み(営利路線、福祉 路線 等)] </pre>
必要データ		PTデータ（バス利用特性） 関連データ（バスサービス状況（バス停勢圏、ゾーン別バスサービス水準（運行本数、バス停数等））
留意事項、方向性等		
参考資料		-

(活用事例)

検討事項	公共交通の潜在需要の抽出			
検討地域	室蘭圏	県北臨海都市圏	函館圏	釧路圏
検討調査名	平成 14 年度室蘭圏総合都市交通体系調査	平成 14 年度県北臨海都市圏総合都市交通体系調査	平成 13 年度函館圏総合都市交通体系調査	平成 13 年度釧路圏総合都市交通体系調査
検討主体	北海道	茨城県	北海道	北海道
背景・目的	自動車交通から公共交通への転換需要を抽出し、今後の公共交通施策展開の方向性を探る。	公共交通の潜在需要を推計し、潜在需要の整理結果をもとに、事業可能性を検討する。	函館圏の都心部における自動車通勤から公共交通への転換需要を検討。	釧路圏における自動車通勤からバス交通への転換需要を検討。
検討方法	<p>< 潜在需要の定義 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤目的で朝ピーク時間(7:00~8:59)でトリップを開始しており、1日の行動が2トリップで完結 ・私用目的で、朝ピーク以外の時間にトリップを開始し、移動の際に荷物を持ち運ばない 	<p>< 潜在需要の定義 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・徒歩が20分以上のトリップ ・自転車・バイクが20分以上のトリップ ・65歳以上と18歳未満の自動車同乗トリップ ・75歳以上自分運転の自動車トリップ 	<p>< 潜在需要の定義 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時間(7:00~8:59)の通勤目的自動車利用交通 ・このうち1日のトリップが通勤・帰宅の2回で完結するもの ・さらに、公共交通が結節し、サービスレベルの向上が図れる函館駅前、五稜郭地区美原地区間のトリップ 	<p>< 潜在需要の定義 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤目的のピーク時間(7:00~8:59)における自動車利用交通で、1日トリップが通勤・帰宅の2回で完結するトリップ ・釧路都市圏における大半のバス路線の起終点となっている釧路駅前を含むゾーン関連のトリップ
検討結果	公共交通に転換可能性のあるトリップは全自動車トリップの8%。	約10万トリップの潜在需要が存在(バス約8万トリップ、鉄道約2万トリップ)そのうち、高齢者が約3万トリップ。	公共交通転換需要量は約2万5000人。総自動車トリップ数の4%であるが、現公共交通トリップの64%。	公共交通転換需要量は、約6千トリップ(全自動車トリップの1.7%) 現バス利用トリップの43%。
事業展開等	高齢者バス割引定期券導入助成金制度(室蘭市、登別市) 地方生活バス路線維持補助金(室蘭市、登別市) 高齢者や交通弱者への会員制移動サービス実証実験(平成15~)(伊達市)			

分析結果の例

(1) 潜在需要検討結果(県北臨海都市圏)

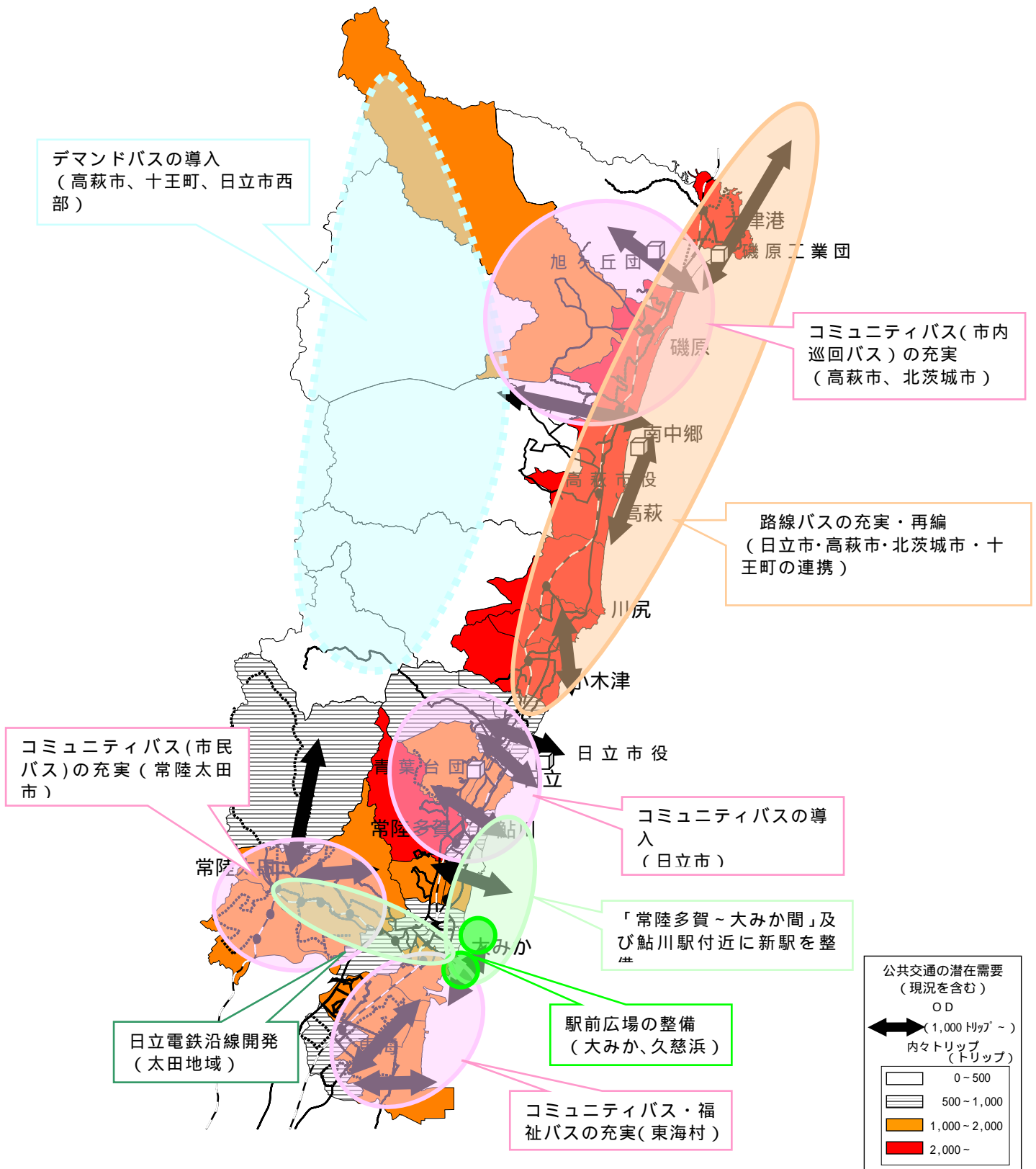


図 公共交通潜在需要に基づく公共交通提案イメージ(県北臨海都市圏)